

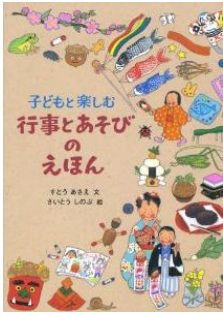
2 月号

にじのかけはし



まだ寒い日が続いていますが、暦はもうすぐ春です。

昨年は、雪がたくさん降りましたが、今年はこのまま春になるのでしょうか。雪遊びはお預けになりそうですね。



2月3日は「節分」です。「節分」とは季節の分かれ目を意味しています。立春(2月4日ごろ)、立夏(5月6日ごろ)、立秋(8月8日ごろ)、立冬(11月8日ごろ)のそれぞれの前日をさし、一年に4回ありましたが、室町時代にはいと、しだいに立春の前日のみをいうようになりました。

豆まきは、中国の鬼をはらう風習が日本に伝わったもので、春を迎え、病やわざわいのない年になるようにという願いが込められています。

(「子供と楽しむ行事とあそびのえほん」より)



福豆とは、節分の時にまく煎った大豆のことです。「豆に宿った穀物の霊の力で鬼(わざわい)をおいはらう」という意味があります。わざわいをはらうおまじないに、自分の年よりひとつ多い数の豆を食べます。

◆本の紹介◆

節分ということで、題名に「おに」が付く本を探してみました。読んでみましょう。



【ソメコとオニ】



【おにたのぼうし】



【おにまうち】



【鬼にて候】



題名に「ゆきだるま」が付く本です。

こんな本もありますよ！



【ゆきだるまのマーブル】



【森のネズミとゆきだるま】



【雪だるまの雪子ちゃん】



【サンタクロースが二月にやってきた】

◆必読図書への取り組み◆



休み時間に必読図書を読破しようとがんばる3年生の姿です。

あと約1ヶ月半。読破賞目指してどの学年にもがんばってもらいたいです★

